

子ども多文化共生センター通信(テラたま通信)

Multicultural Children's Center News

第93号

発行元 子ども多文化共生センター (TEL 0797-35-4537)

発行日 2025(令和7)年1月10日(金)

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>



テラたま
(イメージキャラクター)

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。昨年は元日に能登半島で大きな地震が起きるという驚きで始まりました。9月には、その能登半島で大雨が続き、大変大きな被害が出ました。被災地域の方々が早く元の生活に戻れることを願うばかりです。また、1月17日には阪神・淡路大震災発生から30年になります。震災後に生まれた人が多くなり、日々当時の記憶が薄れつつあるといわれますが、決して忘れてはなりません。阪神・淡路大震災では、避難所で提供される情報は日本語で、被災した外国人の方々には大切な情報が届きませんでした。そこで国籍や民族をこえ、日本語通訳や翻訳など外国人支援のボランティアの方々が活躍されました。これが兵庫県の多文化共生の出発点になりました。巨大地震がやってくるといわれていますが、日頃から多文化共生の取り組みを推し進め、災害が起きたときも安全・安心な社会の実現に向けて歩んで行きたいものです。

『外国にルーツをもつ子どもたちの学校生活とウェルビーイング 児童生徒・教職員・家族を支える心理学』

(松本真理子 野村あすか 編著 遠見書房 2023年3月1日初版第1刷発行)



長期にわたって日本で生活し、定住を希望する家族も急増している。そして、家族とともに来日し、公立学校に通う児童生徒も急速に増えている。全校生の半分以上が外国人児童である小学校もあるという。そのため、学校現場において、日本語教育が大きな課題となってきたことに加えて、子どもたちが日本国内で生活をしていく、生涯にわたって幸せな人生を歩んでいく、ウェルビーイングという視点が必要不可欠になってきている。本書は外国にルーツをもつ子どもたちの学校生活に関する調査や、心理検査をとおして、彼ら彼女らの内面に迫り、幸せな人生を歩んで行くための提言を行っている。多くの教育関係者にとって子どもたちへの支援のヒントが得られるであろう。

★兵庫県内高等学校「外国人生徒にかかる特別枠選抜について」

2025(令和7)年度は、外国人生徒にかかる特別枠選抜が次の6校の全日制高等学校で実施されます。

- ・*県立北神戸総合高等学校 総合学科
- ・神戸市立須磨翔風高等学校 総合学科
- ・県立加古川南高等学校 総合学科
- ・県立芦屋高等学校 普通科(単位制)
- ・県立伊丹北高等学校 総合学科
- ・県立香寺高等学校 総合学科

*2025(令和7)年度入試から、県立神戸甲北高等学校は県立北神戸総合高等学校に名前が変わります。

【募集定員】各校3名

【通学区域】県内全域

【出願手続】2月3日(月)～2月5日(水)午前9時～午後4時30分(2月5日(水)は午前9時～午後0時)

【志願変更】2月6日(木)～2月7日(金)

【選抜実施】2月17日(月)

【実施内容】適性検査(国語、数学、英語)、面接

【合格発表】2月21日(金)

※不合格の場合は、3月12日(水)に実施される学力検査等を受検することができる。

★詳細は、各実施校の募集要項を
確認してください。

★テラたまのひとりごと

テラたまが聞いたことや見たことをお話しするコーナーです。

★オンライン講座「多文化共生」を考える研修会2024

今回で24回目の研修会。『総論～エンタメの力』など4つのテーマで合計4回実施されたって聞いたよ。多文化共生の魅力や課題について、研修できたみたい。来年の研修会も楽しみだね。



○大和大学からの訪問(12/13)

三田学園中学校からの訪問

11月13日に来てくれたんだ。1人でとても緊張していたけど、サポートーさんにインタビューして多文化共生について考えてくれたみたい。サポートーの仕事についてもとても興味をもっててくれていたよ。

夢の実現に向けて頑張ってほしいと思ったんだ！

また大学から訪問に来てくれたよ。センターのことをみんなに知ってもらえてうれしいな！

公立学校の小学校教員をめざしているって聞いたよ。

兵庫県の外国人児童生徒の

状況や課題を聞いた後は、

質疑応答の時間だったんだ。

とても真剣に、メモを取っていたよ。センターにある教材や楽器にも興味を持ってくれて、有意義な時間を過ごしてくれたみたい。

夢を実現して、小学校の先生になってほしいね！



※学生さんの感想・・・

「全ての児童生徒が互いを認め合い、対等に生活できるような学級づくりをしていくことが大切だと感じました。お互いの国の文化を理解し合い、居心地のいい環境づくりを心がけていきたいです。」

「兵庫県における日本語指導が必要な児童生徒の現状を学ぶことができ、大変有意義でした。将来、教師になった際に、どのように向き合うべきかを考える貴重なきっかけとなり、大変感謝しております。」



研修会やイベントの情報をX(旧Twitter)で紹介してるよ。
センターのHPからも見にきてね！(@hyogo_mc_center)
https://twitter.com/hyogo_mc_center

